

# Novell Identity Manager

3.5.1

September 28, 2007

IDENTITY MANAGER ユーザアプリケーション：移行ガイド

[www.novell.com](http://www.novell.com)



Novell®

## 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2006-2007 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に統合されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、「[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/)」の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.  
404 Wyman Street, Suite 500  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.  
[www.novell.com](http://www.novell.com)

オンラインヘルプ: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインヘルプにアクセスする場合は、「[Novell Documentation \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation/)」の Web ページをご覧ください。

## **Novell の商標**

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

## **サードパーティ資料**

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。



# 目次

このガイドについて	3
<b>1 Identity Manager ユーザアプリケーションバージョン 3.5 からバージョン 3.5.1 への移行</b>	<b>5</b>
1.1 Identity Manager のインストール	5
1.2 カスタムユーザアプリケーション設定のエクスポート	6
1.3 ユーザアプリケーションドライバの移行	6
1.4 ユーザアプリケーションのインストール	9
1.5 カスタムユーザアプリケーション設定のインポート	10
1.6 バージョン 3.5 の Identity Manager での Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーションの使用	10



# このガイドについて

このガイドでは、Identity Manager ユーザアプリケーションバージョン 3.5 をバージョン 3.5.1 に移行する方法について説明します。

## 対象読者

このガイドは、Identity Manager のインストールおよび保守を担当する管理者向けです。

## フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか [www.novell.com/documentation/feedback.html](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスしてコメントを記入してください。

## 追加のマニュアル

Identity Manager の機能に関する他のマニュアルについては、[Identity Manager マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/idm\)](http://www.novell.com/documentation/idm) を参照してください。

## マニュアルの表記規則

Novell® のマニュアルでは、手順に含まれる複数の操作および相互参照パス内の項目を分けるために、大なり記号 (>) を使用しています。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (\*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (l) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux\* または UNIX\* などのようにスラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。





# Identity Manager ユーザアプリケーションバージョン 3.5 からバージョン 3.5.1 への移行

# 1

このマニュアルでは、Identity Manager ユーザアプリケーションバージョン 3.5 から Identity Manager ユーザアプリケーションバージョン 3.5.1 に移行するプロセスについて説明します。移行プロセスは、複数のインストーラやユーティリティを使用して、多くのタスクで実行します。移行プロセスは、次のタスクでこの順序で構成されます。これらの各タスクは、次の各項でより詳しく説明されています。

- ◆ 5 ページのセクション 1.1 「Identity Manager のインストール」
- ◆ 6 ページのセクション 1.2 「カスタムユーザアプリケーション設定のエクスポート」
- ◆ 6 ページのセクション 1.3 「ユーザアプリケーションドライバの移行」
- ◆ 9 ページのセクション 1.4 「ユーザアプリケーションのインストール」
- ◆ 10 ページのセクション 1.5 「カスタムユーザアプリケーション設定のインポート」
- ◆ 10 ページのセクション 1.6 「バージョン 3.5 の Identity Manager での Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーションの使用」

---

**警告:** 移行プロセスを始める前に、Identity Manager システムのディレクトリとデータベースのバックアップを作成してください。

---

## 1.1 Identity Manager のインストール

移行プロセスの最初のステップでは、Identity Manager のバージョン 3.5.1 をインストールします。

1. システム構成が Identity Manager 3.5.1 の要件を満たしていることを確認します。  
『Identity Manager 3.5.1 インストールガイド (<http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html>)』の「Identity Manager のシステム要件」、および『Identity Manager 3.5.1 インストールガイド (<http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html>)』の「アップグレード」を参照してください。
2. メタディレクトリエンジンのインストール

---

**注:** メタディレクトリエンジンと管理サーバは別々にインストールする必要があります。別々にインストールしないと、インストールがハングします。まず、Identity Manager インストールプログラムのコンポーネント選択パネルで [Identity Manager Web コンポーネント] および [ユーティリティ] を選択解除して、メタディレクトリエンジンをインストールします。インストールが完了したら、再度インストールプログラムを実行します。この際には、コンポーネント選択パネルで、[Novell Identity Manager Metadirectory Server] を選択解除して、[Identity Manager Web コンポーネント] および [ユーティリティ] を選択します。

---

3. 管理サーバのインストール

4. [6 ページのセクション 1.2 「カスタムユーザアプリケーション設定のエクスポート」](#)に進みます。

## 1.2 カスタムユーザアプリケーション設定のエクスポート

ポートレットおよびページ初期設定データをバージョン 3.5.1 に移行するには、バージョン 3.5 ユーザアプリケーションのポータルデータエクスポートツールを使用します。

- 1 バージョン 3.5 ユーザアプリケーションにユーザアプリケーション管理者としてログインします。
- 2 [管理] をクリックします。
- 3 [インポート/エクスポートツール] にある [ポータルデータエクスポート] をクリックします。
- 4 データのエクスポート元のポートレットを選択します。
- 5 [ポータルデータのエクスポート] をクリックします。  
ユーザアプリケーションによって、エクスポートデータを保存するディスク上の場所を指定するダイアログボックスが表示されます。
- 6 データをエクスポートするディスク上の場所を指定して、[OK] をクリックします。

## 1.3 ユーザアプリケーションドライバの移行

Identity Manager 3.5.1 で使用するバージョン 3.5 のユーザアプリケーションドライバを移行する必要があります。ユーザアプリケーションドライバを移行すると、ディレクトリ抽象化レイヤ定義とプロビジョニング要求定義はすべて最新のフォーマットを使用するように更新されます。複数の非表示のランタイム設定オブジェクトも更新され、プロパティが追加されます。

ユーザアプリケーションドライバを移行することで、既存の環境設定 ( カスタムのエンティティやプロビジョニング要求定義など ) を維持しつつ、Identity Manager 3.5.1 の新機能に必要な環境設定を確実にドライバに含めることができます。

移行ツールを使用した場合は、ユーザアプリケーションドライバのユーザアプリケーション環境設定しか移行されません。具体的には、ドライバ全体は移行されません。具体的には、ポリシーは移行されません。ポリシーは、一般的な Designer と展開コードによって処理されます。ポリシーの移行の詳細については、「[Identity Manager ポリシーのアップグレード \(http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html?page=/documentation/idm35/policy/data/policyupgradeoverview.html\)](http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html?page=/documentation/idm35/policy/data/policyupgradeoverview.html)」を参照してください。

---

**注:** ユーザアプリケーションドライバを移行するための初期設定を設定できます (『Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 設計ガイド』の「[“プロビジョニングビューの初期設定”](#)」を参照してください)。

---

- 1 Identity Manager Designer バージョン 2.1 をインストールします。

『Novell Designer 2.1 for Identity Manager 3.5.1 ガイド ([http://www.novell.com/documentation/designer20/index.html?page=/documentation/designer20/admin\\_guide/data/front.html](http://www.novell.com/documentation/designer20/index.html?page=/documentation/designer20/admin_guide/data/front.html))』の「**Designer のインストール**」を参照してください。

- 2 メタディレクトリサーバ上にある生成物のローカル表現を格納する新しいプロビジョニングプロジェクトを作成します。

『Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 設計ガイド』の「**プロビジョニングプロジェクトの設定**」を参照してください。

- 3 移行するユーザアプリケーションドライバが含まれるドライバセットをインポートします。

『Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 設計ガイド』の「**プロビジョニングオブジェクトのインポート**」を参照してください。

- 4 次の手順に従って、新しいプロビジョニングプロジェクトのバックアップコピーを作成します。

**4a** プロジェクトビューでプロジェクト名を右クリックして、[プロジェクトのコピー] を選択します。

**4b** [プロジェクトのコピー] ダイアログボックスの [プロジェクト名] に新しいプロジェクト名を入力して (またはデフォルトの名前をそのまま使用して)、[OK] をクリックします。

- 5 次のいずれかの方法で、移行するユーザアプリケーションに使用する移行コマンドを選択します。

- プロビジョニングビューでユーザアプリケーション名を右クリックして、[移行] を選択する。
- モデラービューでユーザアプリケーション名を右クリックして、[アプリケーション] > [移行] の順に選択する。
- アウトラインビューでユーザアプリケーション名を右クリックして、[移行] を選択する。

この手順では、IDM Designer のワークスペースで見つかったドライバのローカル定義を移行します。メタディレクトリサーバは、後半のステップで変更内容を展開するまで変更されません。

- 6 [プロビジョニングビュー] タブをクリックします。

- 7 プロジェクト名の横にあるプラス (+) 記号をクリックして、プロジェクト内のユーザアプリケーションのリストを表示します。

- 8 移行するユーザアプリケーション名を右クリックして、[移行] を選択します。

[すべてのエディタを閉じる] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスは、ユーザアプリケーションの移行によってすべてのエディタが閉じられることを通知します。

- 9 [はい] を選択します。

開いているエディタに未保存の作業がある場合は、[リソースの保存] ダイアログボックスが表示されます。

- 10 [リソースの保存] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックして、開いているエディタでの変更内容を保存します。

移行するには識別ボルトのスキーマを変更する必要があることを警告するダイアログボックスが表示されます。続行するか、移行をキャンセルするかを選択できます。

- 11 移行を続行するには [はい] を、移行をキャンセルするには [いいえ] を選択します。
- 12 移行が完了すると、移行中に発生した情報、警告、およびエラーを一覧にしたダイアログボックスが表示されます。たとえば、移行中に追加されたすべてのオブジェクトに対して、該当するオブジェクトに関する情報テキストが表示されます。このダイアログボックスを使用して、次のような複数の操作を実行できます。
- ◆ 移行時に、関連付けられているユーザアプリケーションについて、このダイアログボックスの内容を記述したログファイルを `project-name/Provisioning/AppConfig` フォルダに自動的に保存する。ファイル名は `migrationLog date.log` になります。また、このダイアログボックスの右上隅にあるフロッピーディスクのアイコンをクリックすると、ディスク上の好みの場所にあるファイルに移行ログを保存することができます。
  - ◆ [移行の取り消し] ボタンをクリックして、元のユーザアプリケーション環境設定に戻す (たとえば、移行中にエラーが発生した場合など)。このダイアログボックスで [OK] をクリックするまでは、移行を取り消すことができます。
  - ◆ [移行されたユーザアプリケーション環境設定の展開] を選択して、移行した環境設定を [マイグレーション] ダイアログボックスから直接展開する。このオプションを選択した場合、移行したドライバは展開前に検証されます。このオプションを選択しなかった場合は、移行したドライバに対してプロジェクトチェッカを実行する必要があります。  
『[Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 設計ガイド](#)』の「[“プロビジョニングオブジェクトの検証”](#)」を参照してください。
- 13 [移行] ダイアログボックスで目的のオプションを選択して、[OK] をクリックします。  
Designer が、識別ボルトにユーザアプリケーションドライバが存在するかどうかをチェックします。存在しない場合 (たとえば、プロジェクトをファイルからインポートした場合や、ドライバをドライバ環境設定ファイルからインポートした場合など)、ドライバ全体を展開するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。
- 14 ここでドライバ全体を展開する場合は、[はい] をクリックします。
- 15 この移行ダイアログボックスから直接展開しない場合は、移行したオブジェクトに対してプロジェクトチェッカを実行します。  
『[Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 設計ガイド](#)』の「[“プロビジョニングオブジェクトの検証”](#)」を参照してください。  
環境設定に検証エラーがある場合はエラーが通知され、ドライバを展開する前にエラーを修正する必要があります。
- 16 移行ダイアログボックスから直接展開しない場合は、ドライバ名を右クリックして [展開] を選択し、ドライバを展開します。  
移行後のプロジェクトは、移行した環境設定全体のみを展開できる状態になります。移行した環境設定に定義をインポートすることもできません。移行した環境設定全体が展開されたら、この制約は解除され、個々のオブジェクトを展開したり、定義をインポートしたりできるようになります。
- 17 ドライバセット内の各ユーザアプリケーションドライバごとに、ステップ 5 ~ 15 を繰り返します。

注：ドライバを Identity Manager 3.5.1 にアップグレードする際は、同じドライバセット内にある他のドライバもすべて Identity Manager 3.5.1 にアップグレードしてください。「新しいアーキテクチャへのドライバのアップグレード (<http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html?page=/documentation/idm35/policy/data/policyupgradeoverview.html>)」を参照してください。

## 1.4 ユーザアプリケーションのインストール

ユーザアプリケーションをアップグレードする前に、Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーションをインストールするための前提条件をすべて満たしていることを確認します (『Identity Manager 3.5.1 インストールガイド (<http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html?page=/documentation/idm35/install/data/front.html>)』の「Identity Manager のシステム要件」を参照してください)。

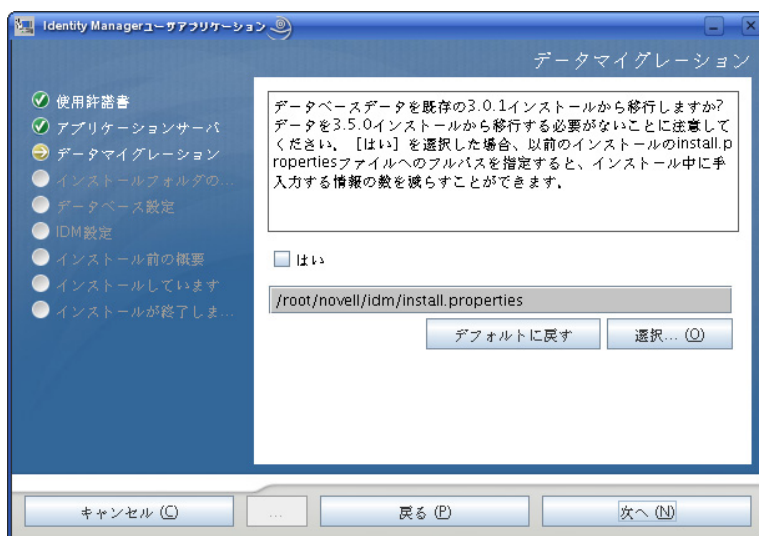
3.5.1 ユーザアプリケーションのインストール時には、次の条件を満たす必要があります。

- ◆ 同じユーザアプリケーションデータベースを使用する。
- ◆ 同じユーザアプリケーションコンテキスト名を使用する。

1 バージョン 3.5.1 ユーザアプリケーションのインストールプログラムを起動します。

『Identity Manager 3.5.1 インストールガイド (<http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html?page=/documentation/idm35/install/data/front.html>)』の「ユーザアプリケーションのインストール」を参照してください。

ユーザアプリケーションのインストールプログラムが起動すると、データベースのデータを古いインストールから移行するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。



2 [はい] が選択されていないことを確認します。

3 [次へ] をクリックしてインストールを続行します。

『Identity Manager 3.5 インストールガイド (<http://www.novell.com/documentation/idm35/index.html?page=/documentation/idm35/install/data/front.html>)』の説明に従って、残りのインストールが続行されます。

## 1.5 カスタムユーザアプリケーション設定のインポート

バージョン 3.5 からエクスポートしたポートレットやページ初期設定データをインポートするには、バージョン 3.5.1 ユーザアプリケーションのポータルデータインポートツールを使用します。『*Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 管理ガイド*』の「ポータルデータのインポート」を参照してください。

## 1.6 バージョン 3.5 の Identity Manager での Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーションの使用

バージョン 3.5 の Identity Manager システムをアップグレードしなくても、Identity Manager 3.5.1 のユーザアプリケーションを使用できます。ただし、次のステップを実行する必要があります。

1. インストールメディアで次のファイルを見つけます。これらのファイルは、インストールメディアのルートにある `\35MetaDirSupport` というフォルダにあります。
  - ◆ `afadmin.JAR`
  - ◆ `dirxml.lsc`
  - ◆ `srvprv.sch`
  - ◆ `UserApplication_3_5_1.xml`
2. iManager を使用して新しいユーザアプリケーションスキーマをインポートし、次の操作を実行します。
  - a. iManager にログインします。
  - b. `[eDirectory の保守]` > `[インポート変換エクスポートウィザード]` の順に選択します。
  - c. デフォルト値をそのまま使用し、`[次へ]` をクリックします。
  - d. `[ファイルタイプ]` として `[スキーマファイル]` を選択して、`srvprv.sch` を参照します。
  - e. `[次へ]` をクリックします。
  - f. eDirectory のサーバ名とポートを入力します。
  - g. `[認証ログイン]` を選択して、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
  - h. デフォルト値をそのまま使用して、`[完了]` をクリックします。

エントリがすでに存在するという内容のエラーが表示された場合は、無視して構いません。ただし、その他のエラーが表示された場合は、ICE コマンドを使用してスキーマをインポートしてください。

3. 次の方法で、ユーザアプリケーションドライバ事前設定ファイル (`UserApplication_3_5_1.xml`) を更新します。
  - a. 新しいユーザアプリケーション事前設定ファイルを iManager サーバ上の `DirXML.Drivers` ディレクトリにコピーする。

```
\dirxml\rules\DirXML.Drivers
```

このファイルは、iManager からドライバを作成する際に、選択元の環境設定のリストに表示されます。

- b. 新しいドライバを作成するか、または新しい環境設定ファイルを使用して既存のドライバを更新します。
4. 次の操作を実行して、ワークフロープラグイン JAR を更新します。
  - a. afadmin.JAR を iManager の WEB-INF/lib ディレクトリにコピーする。例：  
`/var/opt/novell/iManager/nps/WEB-INF/lib`
  - b. iManager サーバを再起動します。
5. 新しい dirxml.lsc ファイルを使用するように Novell Audit サーバを更新します。  
『Identity Manager 3.5.1 ユーザアプリケーション: 管理ガイド』で、Identity Manager アプリケーションスキーマを Novell Audit サーバにログアプリケーションとして追加する方法について説明した項を参照してください。